

第 10 号

こんにちは 青葉のまちセンです



編集・発行 青葉まちづくりセンター
青葉町 3 丁目 (青葉会館内)
8 9 2 - 8 1 7 7 ・ FAX 8 9 2 - 6 6 1 3

まちづくりセンター発の情報紙です。知りたいこと、知らせたいことはありませんか？ご意見・ご感想・投稿大歓迎。よろしくお願いします。

まちの安全は私たちの手で

2 月 27 日(月)、青葉会館で青葉地区まちづくり会議の第 6 回全体会議が開催されました。今回のテーマは、「地域で取り組む防犯活動」。会議には、区役所から千葉 守区長など 5 人を迎えたほか、2 人の方を講師にお招きしました。

1 人は手稲区山口団地中央自治会の松坂 君子会長です。同自治会では、一昨年の夏、団地で発生した連続車両放火事件を機に、防犯パトロールを開始。その後、総務省のモデル事業指定を受けるなどしながら、組織的にパトロール活動を続けています。松坂会長からは、その



「自分たちにできることを」と松坂会長

経緯と、継続することの大切さ、大変さをお話しいただきました。

もう 1 人は厚別警察署生活安全課の菊地 仁希係長。菊地係長からは、最近警察が力を入れている「犯罪抑止対策」の重要性と、地域で防犯パトロールなどを行う際の留意点、着眼点などが紹介されました(下欄参照)。次いで、防犯・防災部会の筒井 健防犯担当座長から、青葉地区における防犯活動の状況を報告。全体での意見交換と続けました。

また、高齢者対策部会(小田桐 正座長)からは、緊急時の連絡先早見表「あおばのあんしん」改訂の取り組みが、環境部会(伊藤 安明座長)からは、青葉中央公園で行う花壇づくりの取り組みなどが、それぞれ紹介されました。

防犯のプロが語る

防犯パトロールをするときには 【心掛けること】

必ず複数で。不審者を見たら、迷わず 110 番(自分で対応しない)

できれば徒歩で

積極的に声掛けを

不審者に間違われぬよう、帽子やベストなどの着用を

時間、場所、方法は、できる範囲で
(無理はしない)

継続は力なり

実施後は、皆で情報交換を
得た情報は、広く知らせる

【着眼のポイント】

防犯灯、街路灯などが必要な場所はないか

不審者のたまり場はないか(見つけたら警察へ)

空き家、廃屋が放置されていないか
通学路では～普段見かけない人、エンジンをかけたままの車(ナンバーを控える)子どもを物色している大人はいないか

公園では～遊び場に異常はないか、遅くまで遊んでいる子どもはいないか、死角はないか

一緒に「公園いじり」しませんか

まちづくり会議環境部会では、青葉中央公園で予定している花壇づくりなどの取り組み、「青葉中央公園ジャック」の実行委員を募集しています。

ステージを活用したイベントや、公園での焼肉、樹木名のプレート設置など、公園の利活用を促進する取り組みなら、何でもあり。アイデアを膨らませたり、



園内には、こんな施設もあります

実施の準備をしたり、環境部会の委員と一緒に汗をかいてくれる方、大歓迎です。経験、資格などは一切不問。興味のある方は、青葉まちづくりセンターへ、ぜひお電話ください。

実はまだ続いていた

シリーズ・まちセンの謎

地区連絡員のお話・その1

まちづくりセンターには、所長のほかに2人の職員がいます。現在勤務しているのは、川原 義宣と黒子 奈美江。正式な職名を「地区連絡員」といい、非常勤の札幌市職員です。



このうち黒子が、3月いっぱいまで任用期間満了となり退職しますので、一言ごあいさつを。

『心優しい地域の皆さんに助けられながら、3年間楽しく仕事をする事ができました。緑豊かな青葉の町並みが、いつまでも快適であり続けますようにと、心から願っています。どうもありがとうございました』

この地区連絡員とは何か?という説明は、次の機会に。

【所長のひとり言】

最近、また犬を飼い始めました。前の犬は、去年の夏病死。勉強不足で、いい関係を築けないままの別れでした。今度こそはと、家族会議を重ねること数カ月。真っ黒なやんちゃ坊主をわが家に迎え、子育てをやり直すような緊張感を味わっています。(部)